

患者情報の研究利用に関するお知らせ

【研究課題名】

子宮体癌における癌の発生局在と DNA ミスマッチ修復機能異常との関連性についての後方視的検討

【本研究の目的】

本研究は、慶應義塾大学医学部産婦人科で行っている研究です。目的は、子宮体癌の発生局在と DNA ミスマッチ修復異常がどの程度関連しているのかを調べることです。子宮体癌の発生局在から DNA ミスマッチ修復異常のリスクを予測できるようになることを目指しています。

【本研究の概要】

2002年1月から2010年7月に慶應義塾大学病院産婦人科において子宮摘出術を施行し、病理組織学的診断で子宮体癌と診断された患者の中から、皆様の診療記録（カルテ）、家族歴、癌の局在、治療経過を分析します。その中で癌が子宮峡部に限局している患者の方の手術標本を用いて DNA ミスマッチ修復異常があるかどうかを調べます。研究対象として最大400名程度の患者の皆様の診療録、および手術検体の情報および手術標本を利用させていただきます。

【研究期間】

平成24年2月27日～平成25年1月31日

【プライバシーの保護に関して】

研究においては既存の診療記録、病理標本を利用させていただくので、患者の皆様への身体的負担はありません。また診療情報は、すべて日常の診療業務の中から生み出されたものであり、研究自体を目的として収集されたデータではありません。すべてのデータは患者さん個人を直接特定できない匿名化情報として収集された上、厳格に保護されます。またこれらの研究課題のすべては、慶應義塾大学医学部倫理委員会における審査をうけ承認を得られたものです。

【同意撤回の自由】

もしこの研究についてのご質問等がおありの場合は、研究責任者までいつでもご質問ください。また御自身の情報を本研究に利用することについて、ご了承いただけない場合には、以下の研究責任者に御連絡ください。当該データを研究の対処より除外いたします。なおその場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは、全くございませんのでご安心ください。

【研究結果に関して】

本研究の成果は論文などにより公表させていただきますが、公開内容には個人のプライバシーに関わることは含みません。

【研究終了後の試料について】

本研究終了後、匿名化された個人情報には本研究以外には用いることはありません。新たな研究のために使用する必要がある場合は、改めて慶應義塾大学医学部倫理委員会における審査申請を行います。

平成24年4月27日

研究責任者

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 阪埜浩司／増田健太

連絡先： 03-5363-3819